

市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」で出されたご意見・ご要望等とそれに対する市の回答の一部をご紹介します（要約）

Q 旧自治下水事務所を住民に還元できる施設にしてほしいとの要望を出しており、合併協議においても空き施設は住民に開放するとの話も聞いている。また、入札が行われる場合、駐車場がいっぱいになりコミセン利用者が駐車できない。できるだけ早急に別の場所で行い、住民の有効活用の場所としてほしい。

A 庁内に「公有財産有効利用検討委員会」を立ち上げ、自治下水跡も含め全市的に活用を検討しています。

Q 道の駅の整備計画について伺いたい。

A 道の駅は面積が約3.6ha、場所は江川五千石土地改良事業の土地です。宇都宮から小山まで公共で休める施設がなく、国でも探していた経緯があり、市としても土地の有効利用と多くの方が楽しめ、更に地産地消が進められると考えています。10月1日に準備係を設置しましたが、いろいろな人の意見を聞きながら3年後を目途に進めていきます。

Q きらら館トレーニング室は飽和状態であるので改装を含め、使用料・機器の見直しをお願いしたい。

A 合併前は町外の住民にも開放していましたが、現在、新規の受付は市民のみとさせていただいています。待ち時間が長くなることによる、利用料金の負担は、実態を調べ改善していきます。施設の増設は今後の中庭の有効利用も含め検討していききたいと思います。

Q 災害時の避難場所の見直しは行われるのか？

A 現在の避難場所は旧町の指定のままであるので、現在策定中の防災計画において適切な指定がなされると考えています。

Q ゆうゆう館での乳児検診がいっぱいで時間がかかっているの、見直しをお願いしたい。

A 小児科医不足で苦慮していますが、自治医大との連携強化等の対策を講じていきます。

Q ごみ袋の有料化について、早急に検討してほしい。

A 旧南河内町・国分寺町で検討されてきた経緯を踏まえ、検討していききたいと思います。

Q 職員削減・住民サービス等の行政改革は矢祭町(福島県)を参考にしてみてもいいか？

A 下野市集中改革プランで職員削減を計画しています。矢祭町の例もありますが、下野市独自のシステムがあってもいいと考えており、更に行政改革を進めていきます。